

# 大阪大学図書館報

Vol. 12, No.1 April 1978

## 目 次

- |                      |           |
|----------------------|-----------|
| ○パピルスから              | ○教官著作寄贈図書 |
| ○文部省配付外国雑誌購入費の運用について | ○本館受入参考図書 |
| ○教養図書選書の改善について       | ○会 議      |
| ○大阪大学逐次刊行物目録         | ○日 程      |
| 和文編（1978年版）の刊行近し     | ○人 事      |

## パピルスから

当 津 武 彦

古代のエジプト人によって筆写の材料に使われたパピルスが、その後地中海沿岸の各地で用いられ、ペーパーの語源にもなったことはよく知られている。

紀元後1世紀のプリーニウスの「博物誌」によると、パピルスはナイル河に密生し、全長は約5メートル、茎の太さは人間の手頸ほどの水草なのであるが、用途はひろく、根は木材の代用や燃料に、樹皮は帆や屋根の蔽い、衣服や敷物などに用いられ、筆写の材料としてはその髄が使われた。この髄の薄い細片を、互に直角になるよう二層に重ね、ナイルの水に浸しては圧力を加えて固めるという製法がとられた、と伝えられる。

このパピルスを材料にする古代の文書は、何葉ものパピルスをつなぎ合せた卷子本の体裁をとり、拡げると全長は10メートルを限界とし、巻くと直径は4センチ、高さは25センチから30センチほどの円筒形をなすというのが標準であったらしい。読者は右手でこれをくりひろげ、読むにつれて左手で巻きとつていく。使用しないときは、皮紙でつつみ、貼札をつけて表題がみえるようにし、円筒の容器に数巻をまとめて収めた、という。

しかしこうしたパピルス卷子本は、参照すべき個所をみるのに、いちいち巻物をひろげるといった不便さが伴われるので、2世紀頃からは、キリスト教の普及と聖書関係の書物の需要の増大につれて、より便利な冊子本に代り、やがて4世紀になると材質もさらに丈夫な皮紙に変わった。今日の書物は15世紀半ばのグーテンベルグの印刷術の発明によって成立したのであるが、それ以前の文書はすべて写字生の筆写によっていたのである。

パピルスは湿気や紙魚にきわめて弱い欠点があったので、古人の文書はその伝承のうえで

さまざまな事故に会うことになった。アリストテレスの影響下に設立されたアレクサンドレイアの図書館には、20万巻とも70万巻ともいわれる蔵書があり、ギリシア古典期の文書も網羅されていたらしく、たとえばこの頃に起源をもつ、ディオゲネス・ラエルチウスのアリストテレスの著作目録も、149の書名をあげているのであるが、現在われわれがもっているのは、わずか30数作にすぎない。ストラボンの伝えるところでは、アリストテレスの著作群は、彼の死後小アジアのスケプシスに移されたとき、アッタロス家の王たちに収奪されることを恐れたネレウスなる人物が地下の穴倉に隠匿したため、湿気と紙魚によってすっかり破損した、といわれているから、古人の書物のおびただしい亡失もこうしたパピルス文書の性質にその一因をもつのかかもしれない。

しかし奇跡も起る。アリストテレスの国制論は永く書名として伝わるのみであったが、1891年にそのうちの1部「アテナイ人の国制」がエジプト出土のパピルス文書の中から発見され、古典学者をおどろかせたこともあるからである。エジプトの乾燥した砂土に埋れていたことが、倖いしたのであろう。

書物の体裁も材質も、時の流れとともに緩慢ではあるが、変化をとげていく。流行と便宜が書物の体裁を左右し、それによって内容にも微妙な影響を与えていくように思われる。今日の書物も重くかさばり、保管の上からも携行の上からも不便を感じることが多い。将来、マイクロフィルムや、マイクロリーダーの普及によって、われわれも書物について、いま抱えているイメージも一変されることになるかもしれない。そんなことを想いながら、講議や演習に必要な書物の入った重いカバンを下げて、研究室と自宅の間を往復しているのが、私の日常である。  
(文学部教授)

## 文部省配付外国雑誌購入費の運用について

### —— 豊中地区（本館）には59タイトルの配架が決定 ——

文部省が自然科学系の外国雑誌購入費として、約1億4千万円の予算を計上し、昭和52年7月1日付で関係大学に当初予算を配分したことは周知のとおりです。

近時、学術研究の進展は著しいものがあり、そこから生産される学術雑誌の量は脅威的といわざるを得ません。さらに、過去数年来、自然科学系の雑誌の高騰が続き、最早、一大学、一図書館単位では研究者の要求に応えることは殆んど不可能です。この種の予算が、研究者からも図書館からも久しく待たれていた所以です。それだけに今回、当該予算の具体化は極めて大きな意義をもつものといえます。

本予算の趣旨は「大学図書館における学術雑誌を整備充実し、集中管理を行うことにより、学内、地域内及び全国的な共同利用を促進し、もつて学術研究の進展に資することを目的とするものである」とされ、1種、2種、3種の別に分けられています。1種については学内で、2種については地域内で、3種については全国的に共同利用を図ることが望ましいものが要件となつています。本学では1種の他に、医・歯・薬学系の2～3種についての予算の配付を受けました。

そこで、本予算の趣旨、要件等を充分ふまえたうえで各種の会議を開き、その運用について慎重な検討がなされました。その結果、まとまつた基本的な考え方はおおむね次のとおりです。

## 〔1種の運用について〕

## 1. 本経費で購入する学術雑誌について

本経費で購入する学術雑誌は原則として、同一種について全学で一部購入するものとし、次の各号の一に該当する学術雑誌とする。

- (1) 各部局経費で同種の学術雑誌について数部購入している場合で、本経費で同種学術雑誌を一部購入することにより、各部局経費での購入がとりやめることができ、学術雑誌の共同利用化の促進に裨益するもの。
- (2) 従前部局経費で購入していた学術雑誌で、且つ学術研究上、当該外国雑誌を購入することが望ましいが、予算の関係等から購入を見合せたもので、本経費で一部購入することにより、学術雑誌の網羅的な収集に裨益するもの。
- (3) 本学で購入していない外国雑誌で、当該外国雑誌を購入することが学術研究上望ましいもの。

## 2. 配架場所について

本経費で購入した学術雑誌は、当該学術雑誌について利用頻度の高いと思われる部局が設置されているキャンパスにある本館、中之島分館及び吹田分館に配架すること。

## 3. 利用

本経費で購入した学術雑誌の利用は、館内閲覧、文献複写、および貸出（1夜貸し）を行わない利用に供するものとする。

## 4. 予算配分について

本経費の配分は、昭和52年度においては、本館、分館が主として奉仕対象とする各部局で購入している学術雑誌（後金の学術雑誌は除く）のタイトル数及び当該雑誌購入費により比例配分するものとする。

## 〔2～3種について〕

本学、中之島分館において、医・歯・薬学系の外国雑誌を収集し、同系の地域的、全国的に共同利用を図ることを目的としたもので、原則的には地域的および全国的に未所蔵の学術雑誌とすることが基本的な考え方です。具体的には次の条件を満すものの中から選択が行われました。

## 1. 3種について

- (1) Index Medicus等の掲載誌のうち、全国の医・歯・薬学系図書館で所蔵していないもの。
- (2) 医・歯・薬学系図書館より外国の機関に複写依頼したもののうち、申込み回数の多いもの。（例えばJ. M. L. A. 調査による「海外申込文献調査(雑誌)昭和50年度」集計結果等）
- (3) 医・歯・薬学系の新刊雑誌（1977年以降創刊のもの）。

## 2. 2種について

- (1) 近畿地区国立大学、医・歯・薬学系図書館に所蔵がなく、当該図書館より複写依頼したもののうち、申込み回数の多いもの。
- (2) 1975年以降の創刊雑誌で、上記医・歯・薬学系図書館に未所蔵のもの。
- (3) Index Medicus等の掲載誌のうち、主として西日本の医・歯・薬学系図書館で所蔵していないもの。

なお、所在調査はいずれも「現行医学雑誌所在目録—1977年度受入医・歯・薬学及関係誌」によった。

以上が本予算運用のあらましですが、今年度は比較的短い期間で処理しなければならなかった事情もあり、個々の雑誌についての評価まで検討を加えていません。従って、その選択が満足すべき結果をもたらすとは必ずしも予測できません。その意味でも今後の利用動向を充分見まもつていかなければならないといえます。

#### 購入タイトルリスト (第1種: 183タイトル)

以上のような方針のもとに新規購入タイトルの選定が行われ、第1種: 183タイトル〔本館(59)、中之島分館(55)、吹田分館(69)〕、第2種: 191タイトル、第3種: 275タイトルが決定されました。第1種のタイトルを以下に掲載します。(配架場所略名—M: 本館、N: 中之島分館、S: 吹田分館)、第2種及び第3種につきましては、既に中之島分館より関係者にリストが配布されております。

なお、本館の購入予定誌は、2階参考掛カウンター横に新しく外国雑誌コーナーを設置して配架致します。

- |  |   |
|--|---|
| ATZ, Automobiltechnische Zeitschrift. (S)                  | Brown Boveri Review. (S)                                  |
| Acoustics Letters. (S)                                     | Building Systems Design. (S)                              |
| Acta Biologica. (N)  | COMSAT Technical Review. (S)                              |
| Acta Physiologica Scandinavica. (M)                        | Canadian Journal of Surgery. (N)                          |
| Aeronautical Journal. (M)                                  | Child Development. (M)                                    |
| Aluminium. (S)   | Chinese Astronomy. (M)                                    |
| Ambio. (S)   | Clinical Biochemistry. (N)                                |
| American Zoologist. (N)                                    | Color Research and Application. (M)                       |
| Anaesthesia. (N)   | Communication on Physics. (M)                             |
| Anatomischer Anzeiger. (N)                                 | Comptes Rendus de l'Academie des Sciences,<br>A et B. (S) |
| Annals of Rheumatic Diseases. (N)                          | Computerized Tomography. (N)                              |
| Applied Spectroscopy Review. (M)                           | Computers & Fluids. (M)                                   |
| Archiv fur Lebensmittelhygiene. (N)                        | Computers & Mathematics with Applications.<br>(M) (S)     |
| Archives of Mechanics. (S)                                 | Computers & Geosciences. (S)                              |
| Astronomy and Astrophysics. (M)                            | Contemporary Physics. (M)                                 |
| Australian Journal of Physics. (M)                         | Critical Care Medicine. (N)                               |
| Aviation Week & Space Technology. (M)                      | Developmental Neuroscience. (M)                           |
| Biochimie. (N)   | Doklady Chemistry. (M)                                    |
| Biological Review; Cambridge Philosophical<br>Society. (N) | E und M; Elektrotechnik und Maschinenbau. (S)             |
| Biology of Reproduction. (N)                               | ETZ; Elektrotechnische Zeitschrift. A, B. (S)             |
| Biomedical Mass Spectrometry. (M)                          | Electrical World. (S)                                     |
| Biomedicine with Biomedicine Express. (N)                  | Electronic Design. (S)                                    |
| Blut. (N)  | Engineering. (S)  |
| Brauwelt, Ausg. B. (Bauwissenschaft). (S)                  |   |

- Environmental Perspectives. (S)  
Ergonomics. (S)  
Erzmetall. (S)  
European Journal of Cardiology. (N)  
European Journal of Nuclear Medicine. (N)  
European Journal of Pediatrics. (N)  
European Surgical Research. (N)  
European Urology. (N)  
Evolution. (N)  
FEMS Microbiology Letters. (N)  
Farbe. (M)  
Fertigungstechnik und Betrieb. (S)  
Fiber Optics & Integrated Optics. (M)  
Fuzy Sets & Systems. (M)  
Giesserei-Technik. (S)  
Hautarzt. (N)  
Health Laboratory Science. (N)  
High Temperature Science. (S)  
Human Genetics. (N)  
Hydrocarbon Processing. (M)  
Illinois Dental Journal. (N)  
Indian Journal of Chemistry. Sect. B. (N)  
Industrie-Anzeiger. (M)  
International Journal of Biochemistry. (N)  
International Journal of Clinical and  
Experimental Hypnosis. (M)  
International journal of Fusion Energy. (S)  
International Journal of Hydrogen Energy. (M)  
International Journal for Numerical &  
Analytical Methods in Geomechanics. (S)  
International Journal of Systematic  
Bacteriology. (N)  
International Journal of Vitamin & Nutrition  
Research. (N)  
International Metals Reviews. (S)  
Iron Age. (S)  
Ironmaking & Steelmaking Journal. (S)  
Israel Journal of Chemistry. (M)  
Journal of Adhesion. (S)  
Journal of Applied Chemistry &  
Biotechnology. (S)  
Journal of Biomedical Materials Research. (N)  
Journal of Chemical Information & Computer  
Science. (N)  
Journal of Chemical Research. (N)  
Journal of Clinical Chemistry. (N)  
Journal of College Science Teaching. (M)  
Journal of Crystal Growth. (S)  
Journal of Educational Data Processing. (M)  
Journal of Environmental Management. (S)  
Journal of Food Protection. (N)  
Journal of Insect Physiology. (M)  
Journal of Luminescence. (S)  
Journal of Mammalogy. (N)  
Journal of Metals. (S)  
Journal of Microscopy. (S)  
Journal of Molecular Catalyst. (M)  
Journal of Molecular Structure. (M)  
Journal of Neuroscience Methods. (M)  
Journal of Non-Newtonian Fluid Mechanics. (M)  
Journal of Number Theory. (S)  
Journal of Physical and Chemical Reference  
Data. (M)  
Journal of Reproduction Fertility. (N)  
Journal of Studies on Alcohol. (N)  
Journal of Supramolecular Structure. (N)  
Journal of Vacuum Science & Technology. (M)  
Kinetics & Catalysis. (M)  
Light & Lighting. (S)  
Lymphology. (N)  
Machine Design. (S)  
Machine-Outil Francaise. (S)  
Magnetism Letters. (M)  
Manufacturing Engineering. (M)  
Materials Performance. (S)  
Measurement & Control. (S)  
Mechanical Engineering. (M) (S)  
Medicine and Science in Sports. (M)  
Mesures & Regulation Automatisme. (S)  
Metal Progress. (S)  
Metallurg. (S)  
Metallurgia & Metal Forming. (S)  
Microbios Letters. (N)  
Microchimica Acta. (N)  
Microelectronics. (S)  
NDT International. (S)  
Noise Control Engineering. (S)  
Noise / News. (S)

- Non-linear Analysis, Theory, Methods and Applications. (M)  
 Nuclear Fusion. (M)  
 Nucleic Acid Research. (N)  
 Nursing Clinics of North America. (N)  
 Oil & Gas Journal. (M)  
 Optical Quantum Electronics. (M)  
 Perceptual and Motor Skill. (M)  
 Pharmaceutical Journal. (N)  
 Philosophical Transactions of the Royal Society of London, Ser. B. (N)  
 Planning Outlook. (S)  
 Post Office Electrical Engineers' Journal. (S)  
 Postgraduate Medicine. (N)  
 Proceedings of the American Society for Testing & Materials. (M)  
 Process Engineering. (M)  
 Processing. (M)  
 Programming & Computer Software. (S)  
 Progress in Biophysics & Molecular Biology. (S)  
 Progress in Hematology. (N)  
 Progress in Quantum Electronics. (M)  
 Protides of the Biological Fluids. (N)  
 Pure and Applied Chemistry. (S)  
 Radio Engineering & Electronic Physics. (M)  
 Radio Science. (S)  
 Radiochimica Acta. (M)  
 Regelungstechnik + Regelungstechnische Praxis. (S)  
 Reports on Mathematical Physics. (M)  
 Sabouraudia. (N)  
 Science of the Total Environment. (S)  
 Seminars in Hematology. (N)  
 Sheet Metal Industries. (M)  
 Solar Energy. (M)  
 Solid-State & Electron Devices. (S)  
 Soviet Journal of Coordination Chemistry. (M)  
 Soviet Journal of Low Temperature Physics. (M)  
 Soviet Physics-Doklady. (S)  
 Stal. (S)  
 Stroke. (N)  
 Studies in Applied Mathematics. (S)  
 Tissue Antigens. (N)  
 Toxicology & Applied Pharmacology. (N)  
 Transactions of the Indian Institute of Metals. (S)  
 Transactions of Moscow Mathematical Society. (M)  
 Transactions of the Society of Rheology. (M)  
 Uspekhi Fiziceskikh. (M)  
 Vision Research. (S)  
 Wilhelm Roux's Archives of Developmental Biology. (N)  
 Wireless World. (S)  
 Zeitschrift für Angewandte Mathematik und Physik. (S)  
 Zeitschrift für Naturforschung, Abt. A. (S)  
 Zeitschrift für Naturforschung, Abt. B. (M) (S)  
 Zeitschrift für Naturforschung, Abt. C. (M)  
 Zeitschrift für Physikalische Chemie, Neue Folge. (West German) (S)

## 教養図書の選書について

1. 昨年までは、開架図書選択小委員会において、主題を18部門に細分し、各委員に推薦を依頼していたが、今年度からは、図書館職員からなる教養図書委員会が選書を行い、その選書について、館長の依頼する顧問教官から、種々の意見や助言を頂く形をとるということで、52年7月22日の図書館委員会での了承に基づき、9月10日の分館長会議に諮り、教養図書整備大綱および教養図書実施要領を制定した。大綱および要領を要約すると、下記のとおりである。

1. 広く総合的な教養を培うため、教科、科目にとらわれないものとする。
2. 専門課程の学生も対象とする。

3. 配架場所は本館、中之島分館および吹田分館とする。
4. 館長の依頼により、顧問教官を委嘱する。
2. 顧問教官と選書委員会との懇談会について  
53年1月30日 午後1時～3時まで、館長も含めて、顧問教官との間で、選書の大綱および予算の配分等について報告、説明をし、今後の指針につき種々懇談した。なお、館長より委嘱された顧問教官は下記のとおりである。

人文科学系	海野一隆	(教養部)
社会科学系	原田敏丸	(経済学部)
理工科学系	須田信英	(基礎工学部)
生物科学系	中川米造	(医学部)

## 大阪大学逐次刊行物目録—和文編(1978年版)の刊行近し

戦後最初の大阪大学学術雑誌目録として、「欧文編」が1969年、「和文編」が1971年にそれぞれ刊行され、以後学内の知的共通財産としてご活用頂いております。その後、「欧文編」については1974年版をお届けしましたが、「和文編」の改訂は遅れておりました。旧版刊行後7年を経て少し遅きに過ぎましたが、ここに「和文編(1978年版)」が刊行の運びとなりました。

今回の改訂版では、①その名称を逐次刊行物目録と改め、収録対象誌を白書、年鑑、統計、新聞等の非学術雑誌類へ拡大したこと、②参照および誌名変遷注記の充実を図ったこと、が主な特徴となっております。改訂版(総タイトル数:6,200、B5版、240頁)は遅くとも本年4月末日迄にはお届けできる予定です。

### 教員著作寄贈図書

#### — 本 館 —

森 昭 (元人・教授)	平田達治 (言・教授)
森昭著作集 6巻:人間形成原論 (黎明書房 昭52)	ドイツ短編小説の系譜 — 成立期から19世紀末まで —、平田達治 他編 (クヴェレ会 昭52)
石谷清幹 (工・教授)	久貴忠彦 (法・教授)
中西重康 (工・助教授)	民法判例 3:親族・相続、中川淳、久貴忠彦 共編 (有斐閣双書 昭52)
熱管理士教本 — エクセルギーによるエネルギーの評価と管理、石谷清幹 他共編著 (共立出版 昭52)	

### 本館受入参考図書

(昭和53年2月～3月)	編 (大蔵省印刷局)
◇ 総 記 ◇	Comprehensive dissertation index, 1861-1972. V.18-19, 25-27, 29-30. (Xerox Univ. Micro.)
Books in print. Supplement 1976-1977. (Bowker)	
The publishers' trade list annual, 1977 V.1-6. (Bowker)	◇ 哲 学 ◇
全国学協会総覧 昭51年版 日本学術会議	心理用語の基礎知識 整理と検証のために 東洋他編 (有斐閣)

## ◇ 歴史 ◇

International bibliography of historical sciences, 1968-1973. V. 37-42. Ed. by Michel François [etc.] (A. Colin)

日本考古学図鑑 新訂 斎藤忠著  
(吉川弘文館)

最新地理学辞典 藤岡謙二郎編 (大明堂)

## ◇ 社会科学 ◇

法令用語辞典 第5次全訂新版 林修三  
他編 (学陽書房)

新経済用語和英辞典 オリエンタル・エコ  
ノミスト編 (東洋経済新報社)

年金小辞典 住友信託銀行編 (キンザイ)

## ◇ 自然科学 ◇

英語科学論文用語辞典 黒屋政彦他編  
(朝倉書店)

化学語源辞典 尾藤忠旦 (三共出版)

教養の医学英語 谷崎隆昭編 (南江堂)

## ◇ 工学・技術 ◇

科学技術情報ハンドブック  
(日本科学技術情報センター)

## ◇ 語学 ◇

世界のことば トレードピア編 (北洋社)

国語学書目解題 赤堀又次郎編著 復刻  
(勉誠社)

難字解読字典 (柏書房)

用字用語新表記辞典 (第一法規出版)

日本言語地図 1-6巻 (国立国語研究所)

現代インドネシア語辞典 末永晃他編  
(大学書林)

英語年鑑 1977年版 (研究社出版)  
和英翻訳ハンドブック 村田聖明編

(ジャパントイムズ)

日米口語辞典 松本道弘他編 (朝日出版)

英語副詞句活用辞典 多田幸蔵編  
(大修館書店)

英文の書き方辞典 三浦新市編  
(荒竹出版)

Dictionnaire des mots nouveaux.  
Gilbet, Pierre. (Hachette-Tchou)

Nouveau dictionnaire analogique.  
Delas, Daniel. (Hachette-Tchou)

Nouveau dictionnaire et ymologique du  
Français. Picoche, Jacqueline.  
(Hachette-Tchou)

## ◇ 文学 ◇

必携国語国文学要覧 鈴木知太郎他編  
(桜楓社)

18-19世紀英米文学ハンドブック 作家作  
品資料事典 増補版 朱牟田夏雄他編  
(南雲堂)

ギリシア・ローマ古典文学参照事典 アウ  
グスチン・シュタウプ編 (中央出版)

## ■■■■■■■■■■ 会 議 ■■■■■■■■■■

## —— 分館長会議 ——

53. 2. 10 (金) 10:45~12:00 館長室

## 1. 新規計上予算による外国雑誌購入費の執行状況について

外国雑誌購入費の本分館別の内訳とその予算執行計画について、説明があり、了承された。

## 2. 学生用図書購入費の追加配分について

昭和52年度学生用図書の購入費の追加配分について、本年度の配分方針に準じて、配分を行った旨の説明があり、原案が了承された。



## 3. 図書館施設の将来計画について

部局の資料室が狭隘になったため、本館の書庫を増築してほしい旨の要望があることが懇談的に話し合われた。

## ——分館長会議——

53. 3. 13 (月) 15:10~17:25 館長室

## 1. 基本参考図書の整備基準について

基本参考図書の整備基準(案)が説明され、種々検討の結果、継続審議となった。

## 2. 昭和53年度事業費予算要求について

昭和53年度事業費予算の要求額について説明が行われ、この原案を3月15日開催の図書館委員会に諮ることとなった。

## ■■■■■■■■■■日 程■■■■■■■■■■

53. 1. 27. 近畿地区国公立大学図書館協議会 52年度第3回図書館業務の機械化に  
関する委員会 (大阪府立大学図書館)
53. 2. 3. 国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会 (国立国会図書館)
53. 2. 3. 第4回国公私立大学図書館連絡懇談会 ( " )
53. 2. 6. 第9回大学図書館基本問題特別委員会 (東京大学附属図書館)
53. 2. 7. 国立大学図書館協議会 52年度第3回常務理事会 ( " )
53. 2. 7. " 53年度国立大学図書館協議会受賞者選考委員会  
( " )
53. 2. 10. 分館長会議 (館長室)
53. 2. 28. 近畿地区国立大学図書館協議会 52年度第3回図書館業務の機械化に  
関する委員会 (本館会議室)
53. 3. 10. 第10回大学図書館基本問題特別委員会 (東京大学附属図書館)
53. 3. 13. 分館長会議 (館長室)

## ■■■■■■■■■■人 事■■■■■■■■■■

## 来訪者

53. 2. 7. 前畑典弘(静岡大学附属図書館閲覧課長)
53. 2. 9. ホーレイ博士(ノースカロライナ大学図書館学部長)
53. 2. 20. 雨森弘行(文部省情報図書館課大学図書館係長)外1名
53. 2. 22. 黒住 武(東京工業大学附属図書館事務部長)
53. 2. 24. 市古宙三(お茶の水女子大学長)
53. 2. 25. 安藤良雄(東京大学附属図書館長)
53. 2. 25. 守田貞龍(東京大学附属図書館事務部長)
53. 3. 7. 宮武正義(東京学芸大学附属図書館事務部長)

## 職員の変動

53. 2. 1. 採用 文部事務官 内田康博 本館 閲覧第一掛
53. 2. 1. 配置換 " 門 昇 法学部 助手
53. 3. 1. 採用 " 井関泰夫 中之島分館 目録掛

## 時間外開館休止のお知らせ

下記の期間時間外開館を休止します。

<b>休止期間</b>	昭和53年 3 月13日(月) ~ 昭和53年 4 月12日(水)
<b>開館時間</b>	月 ~ 金：午前9時 ~ 午後5時
	土 : 午前9時 ~ 午後0時30分